



表紙の人気ナンバーワン



夕日の中の盛漁丸(佐伯市蒲江蒲江浦)

秋の夕暮れに小蒲江湾で静かに停泊する日本で唯一の木造活魚運搬船“盛漁丸”。人気漫画「ONE PIECE」に登場するゴーイングメリー号のようだと地元では人気者です。“かまへのゴーイングメリー号”として湾内周遊など新たな活躍の出番を待っています。

(平成29年10月15日号掲載)

地域資源（宝）の紹介コーナー

◆だより発行100号に寄せて 日豊海岸シーニック・バイウェイ会長 橋本正恵

「蒲江・北浦大漁海道だより」は、平成22年2月の創刊号から8年と11ヶ月、年に11回の発行を重ね、平成最後の年に100号発行となりました。日豊海岸シーニック・バイウェイ～蒲江・北浦大漁海道～の活動を地域の人たちはもちろん、地域外の人たちにも広く知ってもらおうと海道沿線に埋もれている地域資源(宝)をあまねく紹介する役割を担い「人」、「自然・景観」、「歴史・文化」、「食」をメインにその他、活動報告やお知らせを掲載してきました。



これまで、「人」はパートナーシップの方々を始めとする地域で活動する人を70人、「自然・景観」は渓谷などの名勝地や自然林・植物郡による天然記念物などを78箇所、「歴史・文化」は史跡、観音像等の有形文化財、各地区の神楽を始めとする民族芸能など65点、「食」については地域の伝統的な料理や食イベント開催情報の紹介を行ってきました。

100号となりましたが、蒲江・北浦地域には、まだまだ掘り起こしきれていない地域資源(宝)が埋もれています。引き続き皆様からの旬のお宝情報の提供をお待ちしています。「蒲江・北浦大漁海道だより」の発行が、日豊海岸シーニック・バイウェイ活動の情報発信としてお役に立つことを期待して、焦らず、休まず、怠らずに新元号のもと次の節目である200号を目指してまいります。引き続きのご愛読よろしくお祈りいたします。



表紙

今回表紙コーナーでは、過去の52号～99号までを振り返りベストショットの人気投票を行いました。

表紙のナンバーワンに選ばれたのは平成29年10月15日No. 86で掲載した「夕日の中の盛漁丸」です。投票者からは「船の個性と空の美しさが際立っている」、「夕日の中に堂々と浮かぶ船がかっこいい」、「とてもノスタルジック」等のコメントを頂きました。夕焼け雲と船が秋の蒲江の風情を感じさせる表紙となりました。

表紙部門で次に票を集めたのは神秘的な風景の「天空の階段」、シーニックバイウェイにふさわしい景色のよい道路の「豊後くろしおライン」、緑がとても映えている「地下の茶山」でした。



2位 「天空の階段」No.70掲載



2位 「豊後くろしおライン」No.92掲載



2位 「地下の茶山」No.93掲載



食



◆ヒオウギガイ



カラフルなヒオウギ貝

赤、黄、紫など色とりどりの貝殻で知られるヒオウギ貝は蒲江を代表する特産品です。

温暖で波の穏やかな蒲江の湾はヒオウギ貝の養殖に最適。プランクトンをたっぷり食べて育ったヒオウギ貝は肉厚でジューシー、豊かな磯の香りとコクのあるうまみが特長です。定番の炭火焼きや刺身はもちろんのこと、バター焼き、パスタなど幅広いメニューで楽しめます。

天然のヒオウギ貝は秋から春にかけての寒い時期が旬といわれますが、生産者が愛情込めて育てた蒲江の養殖ヒオウギ貝は周年が旬で、一年中おいしくいただけます。

また、カラフルな貝殻は近年アート素材としても注目されており、貝殻をちりばめたランプ等、様々な作品が製作されています。

◆うみウララ“活”藻イカまつり

昨年開催された「“活”きたうらモイカ祭り」がエリアを拡大し、延岡市の「ひむか遊パークうみウララエリア(北浦・南浦・島野浦地区)」の飲食店5店舗で、2月2日(土曜日)から3月31日(日曜日)までの期間「うみウララ“活”藻イカまつり」が開催されています。藻イカは昨年、試行的に提供して好評であったため今年より本格的に提供することになりました。

漁師町だからこそその新鮮な「藻イカ」の生き造り定食を食べられるおいしいお祭りです。各店自慢の藻イカ料理を是非食べ比べてみて下さい。



◆問い合わせ先: ひむか遊パークうみウララ推進委員会(延岡市商工観光部観光戦略課) TEL 0982-34-7833

お知らせ

◆延岡花物語2019

延岡の春の恒例行事となった、「延岡花物語」が2月1日(金)～4月7日(日)にかけて開催されています。期間中は「このはなウォーク」や「ワイワイグルメ博」など多彩な催しが行われています。

◆問い合わせ先:
延岡花物語実行委員会
(延岡観光協会)
TEL 0982-29-2155



報告

◆仙崎延命地蔵尊大祭(蒲江西野浦)が開催されました！

仙崎地蔵尊は、仙崎山沖で漁船や運行船の遭難が多発したため海上航行の安全を祈願して1765年(明和2年)に安置されました。以来、霊験あらたかな仏として地域住民に厚い信仰を集めており、毎年1月24日には「仙崎延命地蔵尊大祭」が挙行されています。今年も1月24日(木)に開催され、お経をお供え後、参拝者に温かいそば、網で焼いた魚、お菓子などの「せったい」が振る舞われ、地区内外から大勢の参拝者で賑わいました。

また、地蔵尊から眺める景色も絶景です。



仙崎延命地蔵尊大祭の様子

シーニック・バイウェイとは:

アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)という意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる141のルートがあり、九州には14のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。



◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆

URL: <http://nippou-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先



日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-8585 大分県佐伯市中村南町1番1号(佐伯市役所内)

tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課
tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課
tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489